

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

発行所 日本農業新聞
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2番3号

©日本農業新聞2005

2005年 (平成17年)

12 14

水曜日

農薬ナビ 流通でも活躍 履歴はお任せ

青果店で実証試験

農薬の適正使用を促す生産段階システムと流通を結ぶ実証試験が13日、横浜市内の青果店で始まった。産地の農薬使用情

報に流通履歴を加え、トレーサビリティ（生産・流通履歴を追跡する仕組み）を構築するのが狙い。研究者らで組織する農薬ナビ研究会が、19日まで販売し、消費者が実際に使う場合の実用性を確認する。

同システムは、農薬生物研究機構が開発した「農薬ナビ」を活用したもの。産地では携帯電話などで農薬使用状況を入力する。

流通段階では別に履歴を蓄積する「ベジトレイ」システムを使い、両システムを連係させる。産地ではケースごとに番号を割り当てたICタグ（電子荷札）を付けて出荷。卸、仲卸、小売りでは番号を読み取って入・出荷の日時を蓄積する。消費者は情報を公開しているホームページで番号を入力すれば、すべての履歴を確認できる。